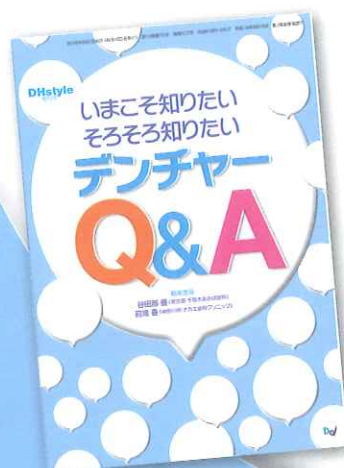


DHstyle  
増刊号いまこそ知りたい  
そろそろ知りたいデンチャー  
Q&A

【編集委員】

谷田部 優(東京都・千駄木あおば歯科)・前畑 香(神奈川県・ナカエ歯科クリニック)

▼ 詳しい情報はこちら



## デンチャーまるわकारいのうれしい一冊!

超高齢社会に突入したわが国は、国民の寿命の延伸とともにデンチャーの使用者も増えています。デンチャーを長期に機能させるためには、歯科衛生士らによる適切なメンテナンスと指導が望まれますが、デンチャーについて学ぶ機会はありませんのが現状です。そこで、デンチャーの基本からメンテナンス方法まで、「いまさら聞きたいこと」や「そろそろ知りたいこと」を1項目2頁を基本としたQ&A形式でやさしく、わかりやすく学べる本書を企画しました。院内で広くご活用ください。

B5判・148頁 オールカラー 本体3,200円+税

## Contents

## 第1章 パーシャルデンチャー

- 歯が抜けた後、どのように変化するの?
- パーシャルデンチャーの取り扱い上の注意点は?
- パーシャルデンチャーを入りにくいのはどんな口腔内?
- 嘔吐反射が強い患者さんにはどう対応するの? 他

## 第2章 フルデンチャー

- フルデンチャー製作手順と期間は?
- 唾液が出にくいフルデンチャー装着者への対応は?
- 「フルデンチャーを入ると痛い」の原因は?
- 「フルデンチャーを入れたものを飲み込めない」の原因は? 他

## 第3章 メンテナンス・訪問歯科診療

- 無歯顎でも歯肉のメンテナンスは必要?
- パーシャルデンチャー用義歯洗浄剤は歯科専売と市販でどう違うの?
- 義歯安定剤はどう選んで使うの?
- デンチャーが原因の粘膜疾患って? 他

取扱店

D<sub>o</sub>株式会社 デンタルダイヤモンド社〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル  
TEL. 03-6801-5810(代) / FAX. 03-6801-5009DD homepage URL  
<http://www.dental-diamond.co.jp/>

# デンチャースペース義歯

## その理論と製作法

【著】田中五郎(神奈川県・田中歯科医院)

詳しい情報はこちら



## 顎堤吸収に左右されない 超高齢社会に適した義歯製作法の真髄

超高齢社会において総義歯の需要がますます高まりをみせるものの、顎堤吸収が進んだ患者さんを満足させる義歯を作るのは容易ではありません。

そこでお勧めしたいのが、「デンチャースペース義歯」です。

デンチャースペースとは失った歯牙や歯槽骨がもともとあった位置のことを指し、そのデンチャースペースにマッチした義歯をデンチャースペース義歯といいます。本書ではデンチャースペース義歯の理論とその実践を一つ一つポイントごとに解説し、臨床経験を補えるような基準やテクニックを紹介しています。総義歯製作で悩むすべての歯科医師に読んでいただきたい一冊です。

A4判・112頁・オールカラー 本体6,000円＋税

### Contents

#### 第1章 デンチャースペース

- デンチャースペース義歯の必要性を確認した症例
- デンチャースペースはどこ？ 他

#### 第2章 治療用義歯と本義歯

- 治療用義歯の必要性と目的
- 治療用義歯製作テクニック
- 治療用義歯期間中の調整
- 本義歯製作 他

#### 第3章 症例

- 長期経過症例
- 極端に顎堤吸収が進んだ症例
- 下顎骨の左右の長さや形態が大きく違う症例
- オーラルディスクネジア
- 軟性裏層材が必要な症例
- 無歯顎だけでないデンチャースペースを基準とした補綴治療
- 改造義歯テクニック 他